

1 開催主旨

頻発する山地災害や森林・林道被害を受け、地域の社会基盤である森林・山村を守るため、治山事業及び森林整備事業による「緑の国土強靱化」、国産材の安定かつ持続的な供給体制構築のための災害に強い林道等路網整備の強力な推進、森林吸収源対策の着実な推進、花粉症対策の加速化等に向けた林野公共事業予算の確保・拡充を実現するため、関係者一丸となった活動・要請を行う。

2 日 時 令和6年11月20日（水） 13時30分～14時30分

3 場 所 海運クラブ 2階ホール

4 出席者 山口俊一会長はじめ、**国会議員 94名**（代理出席含む）

5 参加団体

○全国治山林道協会会長会議（主催）

○（一社）全国森林土木建設業協会（共催） ○（一社）日本林業土木連合協会（共催）

○（一社）日本林業協会 ○全国森林組合連合会 ○（一社）日本林業経営者協会

○（一社）日本治山治水協会 ○日本林道協会 ○日本造林協会

○全国水源林造林協議会連合会 ○全国国有林造林生産業連絡協議会

○全国素材生産協同組合連合会 ○各都道府県森林整備・林道・治山関係者等

総勢約 450名

6 現場からの声 ○青森県林業土木協会
田中 進 会長（青森治山システム協会理事）

○（公社）岐阜県山林協会
山内 登 会長（下呂市長、全国治山林道協会会長会議）

7 決議 ○（公社）岐阜県山林協会
山内 登 会長（下呂市長、全国治山林道協会会長会議）

8 概要:

山口会長の挨拶の後、滝波農林水産副大臣の祝辞。山藤全森建会長、新谷林土連会長から、各地域における激甚な災害への対応や森林整備・治山対策による国土強靱化対策、資源の循環利用のための林道の整備、花粉症対策に向けた林野公共事業の必要性を訴える要望陳述があった。

続けて、現場の第一線で御尽力されている青森県林業土木協会 田中会長、（公社）岐阜県山林協会 山内会長から、現場からの切実な声をいただいた。

山内会長から、全国治山林道協会会長会議としての決議文が読み上げられた後、採択され、盛会のうちに終了。

「治山・林道のつどい」の様子



○山口会長 挨拶

➤今年はや日の能登半島地震で幕を開け、秋には地震で緩んだ地盤に大雨が降り、甚大な被害が発生した。これまでとは災害の発生形態が変化しており、これに対応した対応・予算が必要。皆様のお力添えもあり、2,600億円以上の予算は確保できているが、対策すべき危険な箇所のうち着手できているのは一部で更なる予算確保が必要。また、資源の循環利用の観点からも、花粉症対策、林道整備は重要。皆様と一緒に予算確保に向けて頑張っていきたい。



○滝波副大臣 祝辞

➤能登半島地震や豪雨、台風などにより激甚な山地災害や林道被害が全国各地で発生するなか、国民の「いのち」と「くらし」を守るため、治山・林道、森林整備による「緑の国土強靱化」を加速的に進めることが必要。また、カーボンニュートラルの実現や、花粉症対策の観点からも、「伐って、使って、植える」森林資源の循環利用の確立のため、再造林・路網整備等を着実に進めていく。これら施策の要となる林野公共事業の予算確保に向け全力で取り組んでまいりたい。



○駆けつけていただいた多くの先生方、現場から駆けつけた関係団体の方々

団体挨拶／現場からの声



○山藤 全国森林土木建設業協会会長

➢災害に強い森林づくりによる「緑の国土強靱化」、森林吸収源対策、資源の循環利用を進める必要。林野公共事業の円滑な実施を通じて、地域の安全・安心の担い手、地域の雇用の受け皿としての役割を担っていく決意。



○新谷 日本林業土木連合協会会長

➢被災地の早期復旧はもちろん、災害の未然防止のため、国土強靱化対策や、利用期に達した森林の主伐・再造林に必要な基幹林道の開設・改良に鋭意取り組んでいく。必要な予算の充実・確保に向け、関係者一同決意を新たにしたい。

◆ 青森県林業土木協会 田中会長

【(一社)全国森林土木建設業協会】、【(一社)日本林業土木連合協会】

○青森県はこれまで大雨の発生頻度は少ないと考えられていたが、令和3、4年と連続して大雨による甚大な被害が発生し、地域の暮らしを守る治山・林道事業の重要性を再認識した。

○これまで復旧に全力で取り組んできたが、治山・林道といった森林土木は現場条件が悪く、担い手の確保に苦慮している状況。

○国土強靱化5か年加速化対策を踏まえた予算の安定的な確保を強く要望するとともに、資材価格高騰や山間奥地の厳しい現場条件を踏まえた設計・積算の改善をお願いしたい。



◆ (公社)岐阜県山林協会 山内会長(下呂市長)

【全国治山林道協会会長職】

○下呂市は全国有数の森林が多い市であり、林業・木材産業の推進のため、林道整備・再造林等を進めてきた。

○そのような中、平成30年、令和2年と立て続けに豪雨による甚大な災害が発生。山地防災力・対応力向上に向け、治山施設と森林整備を組み合わせた事前防災対策、関係団体との協力・連携、航空レーザ測量データ等DX推進に取り組んでいる。

○令和7年度予算の確保について、特段のご配慮をお願いしたい。



- ・全国治山林道協会会長会議
- ・（一社）全国森林土木建設業協会
- ・（一社）日本林業土木連合協会

決議文

森林整備・治山事業は、かつてより荒廃した森林の再生・保全等に取り組み安全で安心して暮らせる社会を支えてきましたが、我が国の国土は、地形が急峻かつ地質がぜい弱であることに加え、前線や台風に伴う豪雨や地震・火山活動等の自然現象が頻発し、毎年大きな山地災害や林道被害が発生しています。

本年も既に能登半島地震をはじめ地震・豪雨等により全国各地で山地災害や林道被害が発生しています。毎年発生する豪雨災害、さらには切迫する南海トラフ地震等による津波の危険度も高く、大規模災害の発生リスクは依然として高い状態です。

また、国民病ともいわれるスギ花粉症対策として発生源であるスギ人工林の減少やスギ材の利用促進が課題となっています。

このような中で、国民生活や山村地域を脅かす危機的な状況から脱却するには、地域の社会経済基盤である森林をしっかりと整備し守っていくことが不可欠です。

このため、山地の復旧対策はもとより、事前防災・減災対策を進め災害に強い森林づくりによる「緑の国土強靱化」や国産材の安定かつ持続的な供給体制を早急に構築するため、災害に強い強靱な幹線林道の開設・改良をはじめとする路網の整備を通じた森林整備を強力に推進すること、またスギ花粉の発生量を削減するためスギ人工林の伐採・植替えを加速化することなど、林野公共事業予算を大幅に増額するとともに地域の実情に対応した地方債を確保し、これまで以上の治山対策や森林整備対策の推進を強く切望するものであります。

全国治山林道協会会長会議、全国森林土木建設業協会、日本林業土木連合協会は次の項目について強く要請します。

1. 緑の国土強靱化への対応

「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」による必要・十分な予算を別枠で確実に確保すること。あわせて、追加財政措置等により、山地災害や林道被害の早期復旧や山村経済を回復させる森林整備・治山対策に必要な措置を講ずること。また、「国土強靱化実施中期計画」を早期に策定し、切れ目のない森林整備・治山対策を計画的かつ着実に推進すること。

2. 治山事業及び林道等森林整備事業予算の拡充など

流域治水に対応した治山対策、山地災害からの復旧及び防災・減災対策の実施、並びに森林整備やそのために必要な路網整備の充実等に向けて、林野公共事業を一層強力に推進するため、令和7年度当初予算において予算の拡充を図るとともに地域の実情に対応した地方債を確保すること。また、資材高騰等に対応した予算の増額、工事等の品質確保及び地域の安全・安心の担い手の確保を図るため施工条件に見合った円滑な発注や施工体制の整備を引き続き推進すること。

3. 災害に強い林道等の路網整備の強力な推進

森林資源の循環利用を通じた林業の成長産業化の実現や災害の激甚化への対応に向け、木材生産コスト低減や木材の安定供給等に繋がる幹線林道等の開設・改良や強靱化・長寿命化を図るため、令和7年度当初予算において林道等の路網整備を一層強力に推進すること。

4. 森林吸収源対策の推進及び花粉症対策の加速化

グリーン成長を実現し森林吸収源対策を着実に実施するため、また、スギ花粉の発生量を削減するため、令和7年度当初予算において確実な再造林や間伐、スギ人工林の伐採・植替え、路網整備などの実施に必要な森林整備事業をはじめとする予算を十分に確保すること。